

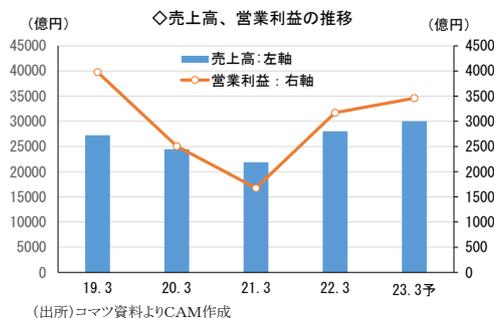
企業ニュース コマツ

(東証プライム : 6301) <https://www.komatsu.jp/ja>

作成者: 奥村義弘

世界トップクラスの建設機械メーカー

1921年設立。世界トップクラスの建設・鉱山機械メーカー。新技術の導入に積極的で、鉱山向け無人ダンプトラック運行システムの強化に取り組む。電動化では、着脱式可搬バッテリーを活用した電動マイクロショベルを国内市場に導入。建設現場向けソリューション「スマートコンストラクション」を着実に推進中。中期経営計画では、成長戦略の3本柱に①イノベーションによる成長の加速、②稼ぐ力の最大化、③レジリエント（柔軟）な企業体質の構築を掲げ、「ESG課題解決と収益向上の好循環」による持続的成長を目指すサステナビリティ経営を引き続き重視し、景気変動に左右されにくい事業構造の構築を進める。22.3期の地域別売上高構成比は日本14%、米州37%、欧州・C I S（独立国家共同体）16%、中国5%、アジア・オセアニア21%、中近東・アフリカ7%。



販売価格の改善や円安で増収増益を計画

22.3期の連結業績は売上高が2兆8,023億円、前期比28%増、営業利益が3,170億円、同89%増。建設機械・車両は、中国以外の各地域で需要が回復した。海上輸送のひっ迫や半導体不足の影響はあるが、新車需要の拡大を取り込んだ。産業機械他部門では、各国で経済活動の規制が緩和され、鍛圧機械等の売上が増加したほか、世界的に半導体需要が増加し、エキシマレーザー関連の売上が増加した。資材価格や物流コスト上昇の影響はあったが、販売量増加や販売価格の引き上げ、円安などが寄与し、売上高営業利益率は11.3%と前期比3.7ポイント改善した。

23.3期の通期会社計画は、売上高が3兆円、前期比7%増、営業利益が3,460億円、同9%増。想定為替レートは1ドル=118円、1ユーロ=129円。建設機械・車両ではC I S、中国などで需要が減少するが、北米、アジアを中心に好調な推移を見込む。利益面では資材価格や物流コスト、固定費の上昇を販売価格の改善、円安効果などで吸収する。ロシア向けは先行きが見通せず、22年3月末時点で現地の在庫や出荷済みのもののみ販売するという前提。産業機械他は、半導体市場向けのエキシマレーザーが増収の一方、自動車向けの鍛圧機械の減少で、減収減益を計画。

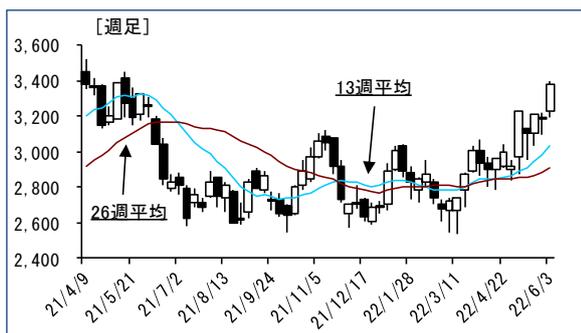
[株価動向・投資判断]

資源価格上昇は鉱山関連の投資にポジティブ。各国のインフラ投資拡大は追い風となろう。

<6301 コマツ 業績: 米国基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	税引前利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
21.3	2,189,512 (▲ 10)	167,328 (▲ 33)	162,775 (▲ 27)	106,237 (▲ 31)	112.4	記55.00
22.3	2,802,323 (28)	317,015 (89)	324,568 (99)	224,927 (112)	238.0	96.00
23.3 予	3,000,000 (7)	346,000 (9)	333,500 (3)	226,000 (0)	239.1	96.00



[主要株価指標]	(売買単位: 100株)
株価 (2022/6/3)	3,375 円
年初来高値 (高値日)	3,397 円 (22/6/3)
同 安値 (安値日)	2,539.0 円 (22/3/8)
予想 P E R (23.3 予)	14.1 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	2,361.7 円
P B R	1.43 倍
予想配当利回り	2.84 %
(1株当たり配当金年96.00円)	
R O E (22.3)	10.9 %
発行済み株式数	97,315 万株